



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 7 月 23 日(土)
まち灯り準備・ろうそくづくり 編

7月23日は子ども館で廃食油を利用したろうそく作りです。当日は午前と午後の2回に分けてろうそく作りを行いました。小学生や小さなお子様を連れた親子づれが多く、この日は能代の花火大会も開催されるせいか、大館市や秋田市から参加している方もいました。のしろ白神ネットワークの活動がみなさんに広がってきているのを感じ嬉しく思いました。また黒松友の会のみなさんもお手伝いに来ていただいて、とてもなごやかな雰囲気でのびんがはじまりました。

最初に子ども館の寺内先生から楽しく分かりやすいお話を聞いた後、いよいよろうそく作りの開始です。廃食油を鍋に入れて温め、凝固剤を加えて溶かし、それを次々にカップに注いでいきますが、子供たちの初めての体験に目を輝かせながら一生懸命ろうそく作りを行っている姿が印象的でした。また、木高研の佐々木先生からBDFができるまでの実験をしてもらい、こちらも子供達は興味津津の様子で真剣な眼差しで実験をしていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎて、みなさんのがんばりでこの日は約200個のろうそくが完成しました。このろうそくが、のしろ白神ネットワーク最大のイベントであるのしろまち灯りで「スギあかり」となって沿道をほのかに灯します。参加したみなさんも「のしろまち灯り」で実際にろうそくに灯がともる姿を楽しみにしているとおっしゃってくださいました。ご参加いただいたみなさん本当にありがとうございました。

文： 田中 貴子



今回は市外からの親の参加もありました。



ろうそく作り(上)も BDF 実験(下)も初めてづくり。とても興味をもって取り組んでくれました。



みなさんのおかげでたくさんのろうそくができあがりました(上)。試しに室内を暗くして点灯してみました(下)。当日の夜が楽しみですね。